

第186号 令和7年9月15日 発行

- 診療部通信（緩和ケア内科）
- 新人看護職員研修
- KYT勉強会
- QCサークルキックオフ
- サークル活動報告（あるき隊）
- 健康いきいき教室開催予定
- 1日ナース体験開催報告

IWAKUNI
MEDICAL
CENTER

地域医療支援病院

岩国市医療センター
医師会病院だより

<http://iwakuni-med.jp>

心ひとつに
地域貢献

～安心・安全な
医療をめざして～

岩国市医療センター医師会病院

〒740-0021

岩国市室の木町3丁目6-12

☎（0827）21-3211（代表）

E-mail：info@iwakuni-med.jp



緩和ケアに限らず医療・介護に関する情報は、雑誌や書籍、そしてテレビやラジオの番組などで提供される一方で、ネット上で検索すれば容易により能動的に接することができるようになりました。

そのような世界で医療者である私は、医学雑誌や医療ポータルサイトを通じた情報収集を行いながら、実はラジオを通じて緩和ケアを含めたさまざまな情報に接することに「はまっている」のです。とはいえ、放送と同時に聴取することは生活リズムの都合上不可能ですので、以前は番組表を眺めて録音したい番組を見つけると予約録音／SDカードに保存してMP3プレーヤーで聴取するというスタイルでした。時間帯によってはノイズが酷いためにきちんと聴取できなかったり、放送時刻が急遽変更され録音できないという事態も度々ありました。現在は「らじるらじる」や「Radiko」といったネット上のサービスを利用することで労せずして番組データを手に入れることができるようになり、ノイズの影響や放送時刻の変更という問題から解放されましたので、世の中の進歩に大変感謝しています。ラジオ番組を手入手して後に聞くというスタイルが確立したことで、私が通勤の車中で過ごす時間のほぼすべてはラジオ番組聴取に費やされることとなったのです。私がラジオ番組を通じて接する情報には当初から医療従事者を対象としたものもありますが、特に対象者を限定していないものもあります。前者はラジオNIKKEI第一の番組で、後者はNHKの番組といっても過言ではないでしょう。

緩和ケア内科として勤務するなかでもほかの診療科に関する自分の中の知識や情報のアップデートをするために、ラジオNIKKEIで放送される質疑応答的な番組や疾病や制度、薬剤の解説を行う番組は非常に重宝しています。そして、当然ながら緩和医療に関する話題もしばしば提供されています。例えば「薬学の時間」という主に薬剤師の方にむけた番組では、「在宅緩和ケアの実際～緩和ケアに必要な薬局機能とは～」や「がん薬物療法に伴う末梢神経障害診療ガイドライン」、「腎不全患者の緩和ケア」「がん治療に伴う経済毒性とは」「地域連携・チーム医療における薬剤師への期待—総合診療医の立場から—」「地域で推進する栄養・食事支援を通じたフレイル予防」といった内容の放送がありました。現在私たちの病院が実践している 院外薬局薬剤師の方々との協働や訪問栄養指導を通じた生活能力の維持向上に向けた対応が、岩国のみならず今の日本で望まれている姿であることを改めて認識することができました。緩和ケアの行き着くところは、そのほとんどで比較的近い未来における「死」であるのですが、ただそれは結果であり、今ある「生」を多くの職種の方々と共に支援していくことこそが本質だと感じています。その為には独りよがりにならないための情報収集や反省が望まれます。ラジオ番組はその手助けをしてくれているなぁと実感している次第です。

ところで、最近聴取したNHK「ラジオ深夜便」の番組で「【絶望名言 アンコール】ゴッホ」というものがあります。この番組では選ばれた人の人生を振り返りながら、その人が残した言葉を紐解いていっています。そしてゴッホは画家ですね。名前と絵数点しか知らない状況で番組を聴いていました。いくつかあるゴッホが残した言葉のなかに「(簡単にまとめると)人には言葉にできない得体のしれない恐怖 不安 悩みがあるのだ」というものがあったようです。これを聴いて緩和ケア研修で、不安や恐怖を訴える方々への対応として、不安や恐怖の内容を具体的に小さく細かく分割・聞き取りして対処するのですと教えられたなぁと、そして現場でもそのように努めるようにしていたけれど・・・実際どうだったんだろうと自分の診療態度を思い出していました。ところが、番組の中では「そうはいても人間なんのだからどうしようもないよね」とあっけなく締めくくられてしまいました。それを聞くと、「まあっ っかあ！！」(ラジオ番組ではありませんが、TVアニメーション:ドラゴンボールの主人公 孫悟空は一言これと言って気持ちの切り替えをしていると紹介していたNHKのTV番組を思い起こしました。)と、「解決」ではなく、患者さんが気持ちを切り替えられるようなお手伝いが出来ればいいのかなと自分なりの結論を得た次第でした。

また「ラジオ深夜便」中の「ラジオ文芸館」は小説等の朗読がなされるパートなのですが、先ごろ聞いた「波打ち際のふたり」という番組では、一人娘が認知症を発症した母の遠距離介護をする様が描かれていました。ありがたいなシチュエーションですが、作中で語られる娘の不安や怒り、そして自責の念、後悔といった心理描写は、現場でかわる患者家族に望まれる配慮を思い起させるものでした。現実に近い現実ではない世界を聴いてそこから考えることは、自分自身の残りの人生をより良くする素晴らしい良い手立てになるものと感じています。

医療者からは、医学書籍や雑誌にもっとじっくり目を通しなさいと指導されかねないのですが、老眼が進み書物を読むのがつらくなるなかで耳を通じて情報を得て、考えることは今の私にとって代え難い手法となりました。有料タイトルもありますが、まずは費用をかけずに聴取できるところから自分の人生の糧・自己研鑽につながる番組を見つけてみてはいかがでしょうか。

新人看護職員研修

のご紹介



看護部では、毎月第1土曜日に新人看護職員研修を行っています。
今回は8月に行われた研修の様子をご紹介します。4月に入職し、5か月が経過しました。皆さん少しずつ緊張も解け、真剣に研修に取り組んでいます。

CPRの流れ・気管内挿管助助



急変は院内のいつ、どこで起こるか分かりません。皆さん身の引き締まった様子で演習をされていました。

フィジカルアセスメントの考え方



現在の疾患に関わる観察だけでなく、全身をみてアセスメントできるようにしたいです。

呼吸音の正しい聴取と正常・異常



ペアで呼吸音を聴取！実際に正常音と異常音を聴くことで違いがイメージしやすくなりました。

口腔内・鼻腔内の喀痰吸引方法



吸引は病棟でも機会の多い手技です。侵襲や危険を伴う処置のため、状態の観察や感染対策をしながら実施することの重要性が分かりました。

KYT勉強会

7月と8月にKYT(危険予知訓練)勉強会が開催されました。経験年数や部署関係なく、グループに分かれてディスカッションを行いました！以下、参加者コメントです。

気づきの訓練をすることで普段では考えもしなかった「もしも」が私の中で格段に増えたと思います。KYTでグループで事例したことによって予防策、対応をどのように考え、組み立て、報告していくべきであるのか学べたと思います。

KYTについて詳しく知らなかったのですが、今回の勉強会で実施方法を詳しく知ることが出来てとても勉強になりました。特に、意見には肯定的な言葉を遣うことで、様々な意見が出て活発な意見交換につながるということが印象に残りました。今後KYTに参加する際は、積極的に意見を出して、身の回りの危険を回避する力を身につけていきたいと思います。

前職ではKYTは無く、概ねは個人でリスクを考えて介入し、事故後に指導者とリスクや何が出来ていなかったかを考えるという形をとっていました。今回初めて多職種を交えたKYTを経験し、別視点からリスク管理について考えられるという点において、非常に気づきが多く勉強になりました。今後日常的に多職種と情報共有しつつリスク管理を行い、患者様の安全を第一に考えた行動を心掛けていきたいです。

今回初めてKYTに参加させていただきました。他部署の方と話し合いをすることで私の意見とは違う、別視点からの意見を聞くことができ、大変勉強になりました。今回の経験を活かし、日々の業務に励みたいと思います。



QCサークル紹介

当院ではQCサークル活動を平成12年から行っており、サークルごとに自主的に運営し、自己開発や相互啓発をはかり、メンバーの能力向上、明るく活力に満ちた職場づくりや、患者満足の上を目指しています。

この度、2月に行われるQC発表大会に向けてキックオフのポスター発表を行いましたのでご紹介いたします。

◎ サークル名 ○ 部署名 ☆ テーマ

◎ あれ、それ、これっちゃ
○ 看護部 外来
☆ 連携ミスをなくそう！

◎ HAPPINESS ハピネス
○ 回復期リハビリテーション病棟
☆ 特浴介助をスムーズに！！
看護と看護補助者で協力しよう！！

◎ タイチルドレン
○ リハビリ部
☆ 整備環境
～リハビリ室の物品位置
を固定する～

◎ Rちゃん
○ 看護部 2階病棟
☆ 新規褥瘡発生率の低減

◎ QT GO！！
○ 看護部 4階病棟
☆ 0番ベッドを整理整頓しよう

◎ シン:II キュウキュウセンター
○ 救急医事課
☆ 本当にわかる業務マニュアルを
作ろう セカンド

◎ やる気まんぞうサークル
○ 放射線部
☆ MRIの金属持ち込みをなくそう！

◎ ライフ・ワークみなおし隊
○ かけ橋混合部署
☆ かけ橋の業務内容を職種ごとに
見直し、業務の効率化を図ろう

◎ さちまる
○ 看護部 3階病棟
☆ 適切な横シートの使用でコストを軽減

発表大会は
2026年 2月頃に
予定しています。



あるき隊 2025年度活動報告 宮島編

今年度1回目の活動日はみんなの日程調整に手間取り、結局真夏の7月20日となってしまいました。前回、歩き隊の活動として宮島を訪れたのは2020年の3月で、その際は隊員7名とその家族(子供)1名で弥山にのぼりました。

今年は特に猛暑でもあり、参加しやすいように日帰りでかつ涼しいところを歩こうということになりました。いくつかの候補地の中から最終的に宮島の弥山登山ではなく宮島外周ウォーキングに決まりました。毎年ウォンツと広島テレビが主催するメディカルウォーキング大会in宮島(5km・10km・18kmコース)のルート进行参考5~10kmを歩き、かつ干潮時には大鳥居まで戻ってきて海岸に降りることとしました。歩く距離は当日の天候やみんなの体調を考慮して決めることとし、その後は土産物店巡り、食べ歩き散策としました。また、時間がある人は本土に戻った後で温泉(べにまんさくの湯)に入って帰ることになりました。

当日は午前8時半に宮島口の棧橋集合とし、広島組2名はJRで現地へ、岩国組4名は医師会病院に7時半集合とし車で現地へ向かいました。個人的には宮島口の駐車場を利用したことがなかったため知らなかったのですが、日曜日の午前8時で既に値段の高い駐車場以外はほぼ満車となっており、今更ながら宮島の人気に驚きました。岩国組の中には早朝に18km走った後に参加した猛者もいました。彼にとって宮島ウォークはランニング後のクールダウンくらいではと思いました。

午前8時40分のフェリーで宮島に向かいましたが、この時間でも船は観光客でいっぱいでした。宮島の棧橋に着くと、観光客は厳島神社に向かう(反時計回り)一方で私たちは水分補給をしたのちに時計回りの外周ウォーキングをスタートしました。多くの参加者は外周を回るのが初めてでとても新鮮だったように思います。(この時期、厳島神社に向かうルートには鹿はほとんどいませんが)厳島神社から離れる方向にはたくさんの鹿がいてびっくりしました。朝の9時の気温が何度だったかはわかりませんが、鹿にとっても酷暑なのでしょう、歩き回っている鹿はほとんどおらずみんな日陰で休んでいました。島の北側には多数の民家がありましたがすべての家に塀があり入口の門は閉じられていました。また傍の畑にもすべて柵があり、鹿に庭や畑を荒らされないための対策だとすぐに気づきました。

1時間半ほど比較の日陰の多い道を歩いて厳島神社に戻ってきましたが、それでもしっかり汗をかきました。戻って来た時間が丁度干潮で、2022年12月に改修工事の終了した大鳥居を海岸に降りて近くで見に行きました。改修以前は鳥居の柱の割れ目に多数のコインが埋め込まれていましたが、現在の柱は木に見せかけた樹脂(?)で太く紡錘形に被われていました。そのため割れ目もなく朱色の表面にはフジツボなどの貝類が付いているだけでした。厳島神社や大鳥居の周辺を散策し写真を撮り思い思いに撮った頃にはお昼時となっており、日陰を探し求めて移動しました。清盛神社の周辺の松林でランチとなりました。ひと汗かいた後のお弁当はコンビニで買ったものででもいつも以上においしく感じます。

休憩の後、土産物店通りを歩き、お土産を買ったり、ソフトクリームやかき氷、出来立てのもみじ饅頭や焼き牡蠣などを食べたりしながら宮島棧橋に戻りました。フェリーで宮島口まで戻って解散となりましたが、3名はべにまんさくの湯で汗を流してから帰宅しました。

次回は秋の活動を計画中です。皆さんも参加されませんか？



(文責 あるき隊 貴船)

健康いきいき教室 開催予定表

感染防止対策をおこないながら実施しています。どなたでも無料でご参加いただけます。
参加をご希望の方は、外来までご連絡ください。(TEL:0827-21-3211)

時 間: 15:00～ 場 所: 本館1階 食堂

開催日	内 容	担 当
9/19 (金)	フレイルについて	理学療法士・管理栄養士
9/22 (月)	治療・合併症・日常生活	看護師
9/25 (木)	食事療法	管理栄養士
9/26 (金)	運動療法	理学療法士
9/29 (月)	薬物療法	薬剤師
10/3 (金)	フレイルについて	理学療法士・管理栄養士
10/6 (月)	治療・合併症・日常生活	看護師
10/9 (木) ※ 13:30～	糖尿病について	医 師
10/10 (金)	運動療法	理学療法士
10/14 (火)	薬物療法	薬剤師



当院のホームページに、皆さんの健康維持・増進の手助けとなるようにと作成した
『健康づくりパンフレット』を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

1日ナース体験を開催しました！

中学生・高校生を対象に1日ナース体験を行いました。今回は参加した学生さん全員が「将来は看護師になりたい!」と言われており、具体的な進路について熱心に質問したり、体験にも積極的に参加していました。

手洗い講習、手術室の見学、看護師に同行し看護業務の見学、食形態に関する説明など、実際に看護師の仕事を体験し、「より看護師になりたくなった」「病院を深く知る事ができ貴重な体験になった」「ますます看護師に対する興味がわきました」など、とてもうれしい感想をいただきました。なかには当院の1日ナース体験に複数回参加している学生さんもありましたが、「毎年体験内容が違って楽しい!また来年も参加します」と言われていました。

短い時間ではありましたが、ナース体験を通じて看護の魅力や看護師を目指すための進路等について理解を深める機会になったのではないかと思います。



ブラックライトを使って
手洗い講習



看護師に同行して
看護業務の見学



手術室の見学



看護師に関する質疑応答

岩国市医療センター医師会病院 外来診療担当医師

(午前中のみ) 令和 7年 9月 1日現在

	月	火	水	木	金	土	
消化器内科 (肝臓)		川口 憲二					*毎週火曜日の午前中のみ診療を行っています
糖尿病内科				交替 (山口大学) (広島大学)			*第1・3・5木曜日(10時～14時半)は山口大学の医師が 交替で診療を行っています *第2・4木曜日(9時～12時半)は ト部 景子(広島大学)が 診療を行っています *完全予約制のため、医療連携室へ詳細はお問い合わせ下さい *栄養指導は、予約が必要です
腎臓内科	福田 雅通	福田 雅通	藤野 修	福田 雅通 藤野 修	福田 雅通	福田 雅通	*第3木曜日は 藤野 修 が担当します *毎月第2水曜日・第3木曜日(13時～17時)に フットケア外来を行っています (完全予約制)
泌尿器科			徳永 貴範 (山口大学)				*毎週水曜日(13時半～16時半)に診療を行っています
小児科	福田 雅通	福田 雅通		福田 雅通	福田 雅通	福田 雅通	*紹介状を必ずお持ち下さい *第3木曜日は 休診 です
緩和ケア内科		中藤 嘉人 (午前)	中藤 嘉人	中藤 嘉人 (午前)			*初診の場合は、必ず 予約が必要です
へイクリニック内科	熊野 健一 (午前) (再診のみ)	熊野 健一 (午前)			熊野 健一 (午前)	(第1・第3) 原田 英宜 (山口大学)	*毎週 火曜日・金曜日のペインクリニック(痛みの外来)は 予約も可能です 急患や火曜日・金曜日以外の診療については、医療連携室 または直接 熊野 健一 へお問い合わせ下さい ----- *第1・3土曜日(9時～12時半)は完全予約制のため 医療連携室へお問い合わせ下さい
脳神経内科			土ヶ内 紗矢 (広島大学)				*毎週水曜日(9時～12時半)に診療を行っています (対象年齢：16歳以上) *完全予約制のため、医療連携室へ詳細はお問い合わせ下さい
整形外科	貴船 雅夫 (深堀 洋佑) (田中 一成)	貴船 雅夫 (深堀 洋佑) (加藤 慶一)	清水 元晴	深堀 洋佑	交替		*救急と予約診療以外は 午前中 にお願ひします *月曜日・火曜日の田中 一成、加藤 慶一は手術のない日に 診療を行っています *金曜日は 清水 元晴、深堀 洋佑 が交替で担当します
脳神経外科						(第2) 井本 浩哉 (山口大学)	*毎月第2土曜日 9時半～12時に診療(機能的脳外科)を 行っています(要予約)
放射線診断科	三好 啓介 (山口大学)	交替	東 麻由美 (山口大学)	交替	上田 高顕 (山口大学)		*完全予約制のため、放射線科受付 (21-3224) へ 詳細はお問い合わせ下さい
リハビリ科	繁富 頼雄 柳居 理絵子	松本 彰紘 (広島大学)	柳居 理絵子	繁富 頼雄	柳居 理絵子	木村 浩彰	*初診の場合は、必ず 予約が必要です
療育	茶川 治樹	茶川 治樹	茶川 治樹 西川 美希 (午後)	茶川 治樹 (第1・第3) 西川 美希 (午前)	茶川 治樹	茶川 治樹	*完全予約制のため、療育センター (24-0168) へ 詳細はお問い合わせ下さい

★ 救急は、この限りではありません

★ 紹介状は必ずお持ち下さい

※ 土曜日の午前中は、病院医師 1 名の当直体制となっています

* 医療連携室電話番号： ☎ (0827) 21-3225

医療相談室についてご案内

疾病に関する医学的な質問、医療安全、医療費、各種申請書、各種証明書、入院生活、健康診断結果等の健康管理に係る相談、保健福祉サービスに関する相談等について、医療安全管理者・看護師・薬剤師・社会福祉士等の各担当者をご相談に対応します。

本館 1 階受付にお気軽に相談ください。

受付時間：9：00 ～ 17：00 (平日)

9：00 ～ 12：00 (土曜日)

救急センター

岩国市医療センター医師会病院 救急センターは、下記の時間に診療を行っています。

休日・夜間のお問い合わせは、救急センターにお願いします。

平日・土曜日：19：00 ～ 22：00

日曜日・祝日： 9：00 ～ 22：00

電話番号：0827-21-1199

山口県 医療機能情報公表システム

携帯電話でアクセス！

左の2次元バーコードを携帯のカメラで読み取り、携帯電話に登録できます。